

平成29年度 第2回 総合教育会議 会議録概要

1 開催日時 平成30年3月20日(火) 午前10:00~12:00

2 場 所 飯山市役所 3階 31号会議室

3 出席者 飯山市長 足立正則
教育長 長瀬哲
同職務代理 吉越邦榮
委員 樋口一男
委員 西條三香
委員 小林輝紀

4 出席した事務局職員

教育部長 栗岩康彦
文化振興部長 桑原良満
学校教育係長 丸山真央
学校教育係 宮沢麻由

5 会議の経過及び発言

1 開 会

(教育部長)

ただいまより、平成29年度第二回の総合教育会議を開会します。
それでは足立市長から挨拶をお願いします。

2 あいさつ

(足立市長)

年度の変わり目に当たり、これから卒業式・入学式があるわけでございますが、それぞれ、ご出席をいただくということでもよろしくお願ひしたいと思います。

本日は議題でございますけれども、飯山市保育園・学校課題検討委員会から中間提言、答申をいただいておりますので、それについてご意見をいただき、方向性をだし、保育園・学校の教育環境の充実に向けて進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

(教育部長)

ありがとうございます。それでは早速ですが議題に移りたいと思います。
進行は市長にお願いしたいと思います。

(市長)

それでは議題に入ります。

議題（１）保育園学校課題検討委員会からの中間提言について、お願いします。

（教育長）

今、市長から話がありましたが、先日、教育委員会にて、答申について検討を行いました。

教育委員会としては、答申について「望ましい」ということを重く受け止めて、全委員一致をしております。各教育委員から意見ををお願いします。

（吉越職務代理）

はい。私は検討委員会へも出席させていただいて、それぞれ検討委員の意見、保護者会長・各園長の直の声を聴かせていただく機会が多かったわけですが、児童減については、なんともいかんともしがたい状況があって、長年、教育の現場にいて、ある程度の数があってこそその社会生活の学びがあると思っていますので、統合と言うか1つのところにまとまるということは、他市町村と同じで、飯山市としても考えていけないと思います。ぜひ地域や保護者の理解を得られるような形で進めていけるようにしていただきたい。今後、小学校や中学校へも話が進むと思うが、基本的には、まず子どもたちが第一で、望ましい成長のためにということで、こうしたことが生きていくといいなと思います。

（樋口委員）

答申をいただきまして、適正規模と言うことについて、子どもたちが少なくなっている中で、望ましい環境と言うことで答申のとおりに進めていただけたらと思っておりますが、保護者や地元の理解を得ながら進めていただきたいと思います。以上です。

（西條委員）

保護者アンケートを読ませていただいた中で、それぞれの事情とかわかる部分はありますが、理解いただけるような形で進めていただければと思います。

（小林委員）

私自身も自分の子どもが保育園統合で、課題の中に入った経験がありますが、お三方と同じで「子ども第一優先」「子どものための保育園」というのが第一優先かなと思います。あと経済概念なり社会環境なりが二番目に、というところをお願いできればなと思っております。あとは、ハード面での統合となった場合、後の施設だとか地域の思いだとかというのは三番目に拾いながら、ご検討を進めていただければなと思っております。以上です。

（市長）

ありがとうございました。

ただいま、それぞれ委員からの意見を伺いましたところ、答申どおり進めていくべきではないかというようなご意見を頂戴したところでございます。

答申の中には「望ましい保育環境」「具体的な方向性」ということで、検討委員会の中で、かなり踏み込んだ議論を頂いたわけでございます。ただいまご意見を伺いましたけれども、それぞれ皆様方、同じご意見だったかと思えます。飯山市では今後、子どもの数が減少してくことが予

想されておりまして、そうした中で子どもたちにとって、どのような保育環境が良いのか、特に今、飯山市では保育園・小学校、中学校と連携して子どもたちを育成していくカタチが整えられてきておりまして、来年度、子ども館も開館しまして、小さなお子さんから一体的に保育環境が改善されていくと期待しています。

私も子どもさん達については、答申どおり、できるだけ良い保育環境の中で育ててあげたいという思いがございますので、この答申の内容に基づいて進めてまいるといことで、総合教育会議として位置づけてよろしいでしょうか。

それでは答申に基づいて具体的に進めてまいりたいと思います。

具体的な方向性につきましては、概ね3年以内に飯山地区の公立保育園は一園とするということ。施設はしろやま保育園が望ましい。飯山地区以外の保育園については、今後、小学校や園児数の推移を見ながら検討を進めていく、ということによろしいですか。

それでは(1)につきましては、よろしいですか。

それでは(2)その他、について。特になければ、2その他について。

(事務局)

それでは子ども館の話がありましたので、建設状況について報告させていただきます。

昨年8月に起工しまして、現在ほぼ建物の8割以上が完成しております。

6月に開館し運営したいと考えて進めておりまして、建物自体は4月中には完成の見込みです。その後、外構工事、開館準備等を含めまして6月開館を目指しております。

本日議会最終日ですが、正式名称は飯山市子ども館、募集しておりました愛称も先日「きらら」に決定し検討いただいております。子ども館の運営にあたる職員につきまして市職員、社協職員とおりますが、職員体制の整備、具体的な運営方法等細部を詰めているところでございます。

愛称選考にあたりまして、文化交流館の「なちゅら」が市民に広く浸透しておりまして、今回「きらら」につきましても「なちゅら」を目指すような期待も込めての選考となりました。

館の表示については「なちゅら」の字体をデザインした熊研吾事務所へ相談をしておりまして、子どもたちのイメージに合わせたものを考えていただいているところでございます。

児童クラブはこれまでも行っていましたが、児童センターの機能という部分では、これまで児童クラブの二階に来ていた中学生・高校生の来館について、公民館や保健福祉課と連携しながら子育て支援の一環として、今後、打合せしながら徐々に進めていければと考えております。

地域の方にも関心をもつていただいております。子ども館の近くあります教会等を中心とした活性化を検討している広小路会議のグループからも協力連携のお話も頂いておりますので、館長が決まりましたら、そうした団体等とのソフトの面での連携も考えていけたらと思っております。

(市長)

それでは、ほかに何かご意見等ございますか。予定していた議題はすべて終了しましたので、特になければ、これで総合教育会議を閉じたいと思います。

閉 会